CF-L2M8CA2S/CF-L2M8CAXS/CF-L2M8WA2S/CF-L2M8WAXS
補足説明 - 最初にお読みください -
（取扱説明書より先にお読みください）

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
本書は『取扱説明書』の記載と一部異なる個所について説明しています。ご使用になる前に必ずお読みください。

お願い

本機をバッテリーパックのみでお使いのときは、電源スイッチを押してから電源が入るまで時間がかかる場合があります。電源スイッチは1秒以上押し続けてください。これは電源オフの間、待機電力を抑えているために起こる現象で、故障ではありません。

付属品を確認する

『取扱説明書』7ページ

オペレーティングシステムにより、プロダクトリカバリーCD-ROMの枚数が異なります。

プロダクトリカバリー CD-ROM	
Windows 2000	2枚
Windows XP	3枚

オペレーティングシステムを選ぶ

『取扱説明書』9ページ

本機では、オペレーティングシステムを選択する手順（☞『取扱説明書』9ページの手順7）は必要ありません。

回復コンソールについて

『取扱説明書』12ページ

本機では、回復コンソールのインストール手順は不要です。

操作マニュアル

『取扱説明書』17ページ

操作マニュアルの画面が一部変更されています。（「前後のページを表示します。（前後のページに同項目の説明が続いている場合のみ）」の部分にある矢印、数字はありません。また、タイトルの位置がすべて左側より始まるように変更されています。）
操作マニュアルは本機のハードディスクに保存されていて、画面で見ることができます。プリンターが接続されていれば、印刷することもできます。
周辺機器の拡張方法やセットアップユーティリティなど、知っていると便利な情報、本機をより活用するための機能について説明しています。（主な記載内容については、『取扱説明書』の表紙をご覧ください。）

操作マニュアルを起動する

1 電源を入れる。

2 Windows 2000

[スタート] - [プログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [操作マニュアル]を選ぶ。

Windows XP

[スタート] - [操作マニュアル]を選ぶ。

はじめて操作マニュアルを起動したときは、Acrobat® Readerの「ソフトウェア使用許諾契約書」画面が表示される場合があります。内容を確認の上、[同意する]を選んでください。

（次ページへ）

お知らせ

- 表示サイズによっては、イラストが見えにくい場合があります。この場合は表示を拡大してください。
- Acrobat® Readerの設定とWindowsの画面の設定によっては、『操作マニュアル』などのPDFファイルの文字やイラストが正しく表示されない場合があります。その場合は、下記の手順でAcrobat® Readerの設定を変更してください。

  1 Acrobat® Readerを起動する。

  2 [編集]-[環境設定]-[アクセシビリティ] を選び、 [カラースキーム]を[文書で指定された色を使用]に設定する。
- Acrobat® Readerの下部がタスクバーにかくれて見えないときは、ウィンドウを最大表示にしてください。
- プリンターに接続している場合は、印刷しておくことをおすすめします。ただし、プリンターによっては、イラストや画面サンプルがきれいに印刷できないことがあります。

Windows XP

- ユーザーの簡易切り替え機能を使って別のユーザーに切り替えると、PDFファイルが正しく印刷されない場合があります。その場合は、簡易切り替え機能を使わずに、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

困ったときのQ&A

『取扱説明書』21ページ

内容が次の通り変更されています。

●操作マニュアル

操作マニュアルを表示できない	Acrobat® Readerをアンインストールしませんでしたか？ アンインストールした場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で、「c:\util\reader\ar505jpn.exe」を起動し、画面に従ってインストールしてください。その際、インストール先のフォルダーを変更しないでください。変更すると、スタートメニューから操作マニュアルなどを起動できません。

再インストールのしかた

『取扱説明書』24ページ

お客様が作成したデータは、必ずバックアップをとっておいてください。

再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

●データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作・誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。

再インストールの前に

●準備する

- プロダクトリカバリーCD-ROM
- [バックアップディスク作成]で作成したファーストエイドFD、アップデートFD（☞『取扱説明書』11ページ 手順*9*でアップデートFDを作成した場合）
- 別売りのCDドライブ

  CD-ROMドライブ（品番：CF-VCDL2JS）、CD-R/RWドライブ（品番：CF-VCWL2JS、CF-VCWL2AJS）*、DVD-ROMドライブ（品番：CF-VDDL2JS）、USB接続のCDドライブ（パナソニック製　KXL-840AN、KXL-RW20AN、KXL-RW21AN、KXL-RW31AN、KXL-RW32AN、KXL-RW40AN、KXL-CB20AN）

  * ☞『取扱説明書』6ページ「CD-R/RWドライブについて」

・ 別売りのフロッピーディスクドライブ
『取扱説明書』11ページ 手順9でバックアップディスクを作成する必要があった場合は、フロッピーディスクドライブ（品番：CF-VFDU03JS）が必要です。ドライブをUSBコネクターに接続してください。

● 以下の点を確認する

・不要な周辺機器およびSDメモリー/マルチメディアカードは、すべて取り外してください。
・必ず、ACアダプターを装着してください。

再インストールする

1 CDドライブをマルチメディアポケットまたはUSBコネクターに接続する。

2 コンピューターの電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに、 F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

3 セットアップユーティリティの現在の設定内容を紙などにメモしておいてから、 F9 を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押す。

4 「起動」メニューで「CDドライブ」を選び、 F6 を押して、「CDドライブ」が1番目になるように設定する。

5 「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をCDドライブにセットする。

6 F10 を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、 Enter を押す。
コンピューターが再起動し、以下の画面が表示されます。

番号を選択してください。
1. Windowsを再インストールする。 2. セキュリティのためハードディスクのデータを消去する。 3. 中止する。

7 1 を押して「1.Windowsを再インストールする。」を実行する。

8 再インストールを実行するための条件が表示されたら、同意する場合は 1 を押し、同意しない場合は 2 を押す。
1 を押すと下のメニュー画面が表示されます。
2 を押すと再インストールが中止されます。

Windows 2000

番号を選択してください。
1. ハードディスク全体にWindows(R) 2000 Professionalを再インストールする。 2. OS用とデータ用の２つのパーティションを作成して、OS用パーティションにWindows(R) 2000 Professionalを再インストールする。 (既存のパーティションはすべてなくなります。) 3. 最初のパーティションにWindows(R) 2000 Professional を再インストールする。 4. 再インストールを中止する。

Windows XP

番号を選択してください。
1. ハードディスク全体にWindows(R) XP Professionalを再インストールする。 2. OS用とデータ用の２つのパーティションを作成して、OS用パーティションにWindows(R) XP Professionalを再インストールする。 (既存のパーティションはすべてなくなります。) 3. 最初のパーティションにWindows(R) XP Professional を再インストールする。 4. 再インストールを中止する。

9 メニューから、どの操作を実行するかを選ぶ。
● [2]を選んだ場合は、オペレーティングシステムのインストールに使用する基本パーティションのサイズを入力し、 Enter を押してください。
・入力した数字を設定できる最大のサイズから引いた残りがデータ用パーティションサイズになります。
● [3]を選ぶには、最初のパーティションのサイズは6 Gバイト以上必要です。小さなパーティションには再インストールできません。

（次ページへ）

10 確認のメッセージが表示されたら (Y) を押す。
再インストールが始まります。

お願い

- 再インストールを途中で中止しないでください。
- 途中で次の CD に入れ替える指示が表示されたら、画面に従ってプロダクトリカバリー CD-ROM を順に CD ドライブにセットし、[OK]を選んでください。

コピーなどが終了し再インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。

Windows 2000

> 再起動すると Windows(R) 2000 Professional のセットアップが始まります。
> プロダクトリカバリー CD-ROM を取り出し、Ctrl + Alt + Delete(Del) キーを押して再起動してください。

Windows XP

> 再起動すると Windows(R) XP Professional のセットアップが始まります。
> プロダクトリカバリー CD-ROM を取り出し、Ctrl + Alt + Delete(Del) キーを押して再起動してください。

11 プロダクトリカバリーCD-ROMを取り出し、(Ctrl) + (Alt) + (Delete) を押してコンピューターを再起動する。

12 「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに (F2) を押してセットアップユーティリティを起動する。

13 (F9) を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、(Enter) を押す。
・セットアップユーティリティの設定は、工場出荷時の設定に戻っています（パスワードを除く）。必要に応じて各種設定を変更してください。

14 (F10) を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、(Enter) を押す。

15 Windowsのセットアップを行う。（☞『取扱説明書』9ページ 手順*8*）
＜「アップデートFD」がある場合＞
アップデートFD内のREADME.TXTを参照して操作してください。

お願い

＜無線LANモジュール内蔵モデルのみ＞

Windows 2000

[コントロールパネル]-[アプリケーションの追加と削除]で、Wireless Client Managerがインストールされていることを確認してください。
インストールされていない場合は、[スタート]-[ファイル名を指定して実行]で「c:\util\cl_mgr\setup.exe」を実行してインストールしてください。

＜ドライブ文字を変更する＞
以下の手順でCDドライブやハードディスクドライブのドライブ文字を変更することができます。

- ハードディスクドライブは、パーティションを2つ以上作っている場合のみ変更できます。ただし、Cドライブは変更できません。
- アプリケーションソフトをインストールする前に行うことをおすすめします。

Windows 2000

1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル] -[管理ツール]-[コンピューターの管理]を選ぶ。

2 [記憶域]の[ディスクの管理]を選ぶ。

3 ハードディスクのパーティションまたはCDドライブ名を右クリックして、[ドライブ文字とパスの変更]を選ぶ。

4 [編集]を選ぶ。

5 [ドライブ文字の割り当て]を選び、新しいドライブ文字を選んで、[OK]を選ぶ。

6 確認メッセージが表示されたら、[はい]を選ぶ。

Windows XP

1 [スタート]-[コントロールパネル]-[パフォーマンスとメンテナンス]-[管理ツール]-[コンピューターの管理]を選ぶ。

2 [記憶域]の[ディスクの管理]を選ぶ。

3 ハードディスクのパーティションまたはCDドライブ名を右クリックして、[ドライブ文字とパスの変更]を選ぶ。

4 [変更]を選ぶ。

5 [次のドライブ文字を割り当てる]を選び、新しいドライブ文字を選んで、[OK]を選ぶ。

6 確認メッセージが表示されたら、[はい]を選ぶ。

仕様

『取扱説明書』29ページ

本機の使用は下記の通りです。

● 本体仕様

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

機種名			CF-L2M8CA2S CF-L2M8CAXS	CF-L2M8WA2S CF-L2M8WAXS
CPU			Intel® SpeedStep™ テクノロジ対応 モバイル Pentium® IIIプロセッサ-M 933 MHz ULV	
メモリー	キャッシュ	L1	32 Kバイト	
		L2	512 Kバイト	
搭載メモリー（拡張可能メモリー）			256 Mバイト（最大512 Mバイト）	
ビデオメモリー			最大48 Mバイト（メインメモリーと共有*1）	
LCD	タイプ		13.3型TFTカラー液晶	
	解像度（表示色数）		1024×768ドット(256色/65536色/1600万色)*2	
外部ディスプレイ			1280×1024/1024×768/800×600/640×480ドット (4種のうちいずれの解像度でも256色/65536色/1600万色)*3	
ハードディスクドライブ			約30 Gバイト*4	
キーボード			OADG準拠、Windowsキーボード（86キー）	
スロット	PCカードスロット		Type I (Type II)×1スロット内蔵	
			許容電流 3.3 V：400 mA、5 V：400 mA	
	増設RAMスロット		1スロット(144ピン、3.3 V対応、SDRAM) 133 MHz*5	
	SDメモリーカードスロット		SDメモリーカード/マルチメディアカード	
インターフェース	パラレルコネクター		ECP対応Dsub 25ピン×1	
	シリアルコネクター		RS232C Dsub 9ピン×1	
	外部ディスプレイコネクター		アナログRGBミニDsub 15ピン	
	マイク入力端子		モノラルミニジャックM3（コンデンサーマイクを使用のこと）	
	オーディオ出力端子		ステレオミニジャックM3	
	外部キーボード/マウスコネクター		PS/2 タイプ　ミニDIN 6ピン×1	
	USBコネクター		Universal Serial Bus 1.1 準拠4 ピン×2	
	モデムコネクター		本体内蔵（RJ-11） DATA：56 kbps（V.90 & K56flex）FAX：14.4 kbps	
	LANコネクター		本体内蔵（RJ-45） 100BASE-TX/10BASE-T	
	ワイヤレスコムポート		18ピン（携帯電話/PHS電話接続用）	
	無線LANモジュール		－	内蔵
ポインティングデバイス			フラットパッド	
サウンド機能			PCM音源（16ビットステレオ）、ステレオスピーカー搭載	
消費電力*6			最大 約60 W、（社)電子情報技術産業協会 家電・汎用品高調波抑制対策ガイドライン実行計画書に基づく定格入力電力値：36 W	
外形寸法（幅×高さ×奥行き）			297 mm×25.6(前部)/29.7(後部) mm×238.5 mm （突起部を除く）	
質量			約1.7 kg	
使用環境条件			温度：5 °C〜35 °C 湿度：30 %RH〜80 %RH（結露なきこと）	

*1 コンピューターの動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。
*2 ディザリング機能を使用して約1600万色表示を実現しています。Windows XP :640×480ドット、256色には対応していません。
*3 外部ディスプレイの仕様により異なります。Windows XP :640×480ドット、256色には対応していません。
*4 1 Gバイト=10⁹ バイトで端数を省略しています。
*5 RAMモジュールを増設する際、133 MHz対応であることをご確認ください。
*6 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約1.5 W
「LAN Wake Up機能」が「有効」に設定されているときは約3.0 W

● 付属品仕様

ACアダプター	入力	AC 100 V 〜 240 V*1、50 Hz/60 Hz
	出力	DC 15.6 V、3.85 A
	電源コード	125 V 対応
バッテリーパック	仕様	11.1 V(Li-ion)、3.6 Ah
	駆動時間*2	内蔵バッテリーパックのみ：約 4時間 内蔵バッテリーパック＋拡張バッテリーパック：約 8時間

*1 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。（☞『取扱説明書』「安全上のご注意」3ページ）
*2 JEITAバッテリー動作時間測定法(Ver. 1.0)による駆動時間。バッテリー駆動時間は、動作環境・システム設定により変動します。
無線LANモジュール内蔵モデルの場合、内蔵バッテリーパックのみで約 30分、内蔵バッテリーパック＋拡張バッテリーパックで約 1時間、駆動時間が短くなります。

● 導入済みソフトウェア

機種名	CF-L2M8CA2S/CF-L2M8WA2S	CF-L2M8CAXS/CF-L2M8WAXS
OS	Microsoft® Windows® 2000 Professional with Service Pack3(NTFSファイルシステム)、MediaPlayer 7.0、Microsoft® Internet Explorer 6 Service Pack 1	Microsoft® Windows® XP Professional with Service Pack1(NTFSファイルシステム)
ソフトウェア	DMIビューアー、USERボタンモニター、画面切換ユーティリティ、ネットセレクター、SDユーティリティ、電波状況モニターII、Adobe® Acrobat® Reader、インテル® Speed Step™ テクノロジアプレット、無線LAN切換ユーティリティ*1、クライアントマネージャ*1、ハードディスクデータ消去ユーティリティ*2	DMIビューアー、USERボタンモニター、画面切換ユーティリティ、ネットセレクター、SDユーティリティ、電波状況モニターII、Adobe® Acrobat® Reader、無線LAN切換ユーティリティ*1、ハードディスクデータ消去ユーティリティ*2

*1 無線LANモジュール内蔵モデルのみ。
*2 プロダクトリカバリーCD-ROMが必要です。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

『取扱説明書』31ページ

「商品についてのお問い合わせは」のFAX番号が変更されています。

新FAX番号：(06)6905-5079

ご相談窓口のご案内

パーソナルコンピューターのパナソニックブランド製品についての技術的なご質問・お取り扱い方法等ご不明な点がありましたら、品番をご確認のうえ、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理に関するご相談

サポートデスク

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-008756（パナコム）

呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

受付時間　月～金（祝祭日を除く）
9時～17時30分

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック）

FAX (06)6905-5079

365日／受付9時～20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

2003年1月1日現在

コンピューターの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

最近、コンピューターは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのコンピューターの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。

したがって、そのコンピューターを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

・データを「ごみ箱」に捨てる
・「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
・「削除」操作を行う
・ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
・再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがいまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このコンピューターのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

お客様がコンピューターを廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク内の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録されたすべてのデータを、お客様の責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(ともに有償)を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

データ消去のための専用ソフトウェア・サービスについて：
本機には、ハードディスク内のデータを消去するハードディスクデータ消去ユーティリティが搭載されています。ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。

その他、データの消去に関しては、下記の情報窓口をご利用ください。
＊パナソニックPCのホームページ（http://panasonic.biz/pc/prod/common/eco.html）
＊パナソニックパソコンお客様ご相談センター（フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック））
＊リース、レンタル会社への返却については、リース、レンタル会社の問い合わせ窓口

また、ハードディスク内にお客様がインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

ハードディスクの内容をすべて消去する

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去します。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客様の損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

● 準備する

・ プロダクトリカバリーCD-ROM
・ 別売りのCDドライブ
CD-ROMドライブ（品番：CF-VCDL2JS）、CD-R/RWドライブ（品番：CF-VCWL2JS、CF-VCWL2AJS）*、DVD-ROMドライブ（品番：CF-VDDL2JS）、USB接続のCDドライブ（パナソニック製　KXL-840AN、KXL-RW20AN、KXL-RW21AN、KXL-RW31AN、KXL-RW32AN、KXL-RW40AN、KXL-CB20AN）

* ☞『取扱説明書』6ページ「CD-R/RWドライブについて」

● 以下の点を確認する

- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行すると、ハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。

データをすべて消去する

1 CDドライブをマルチメディアポケットまたはUSBコネクターに接続する。
2 コンピューターの電源を入れ、「Press F2 to enter SETUP」が表示されているときに、(F2) を押し、セットアップユーティリティを起動する。
3 「起動」メニューで「CDドライブ」を選び、(F6) を押して、「CDドライブ」が1番目になるように設定する。
4 「プロダクトリカバリーCD-ROM1」をCDドライブにセットする。
5 (F10) を押す。
確認メッセージが表示されたら、「はい」を選び、(Enter) を押す。
コンピューターが再起動し、以下の画面が表示されます。

番号を選択してください。
1. Windowsを再インストールする。 2. セキュリティのためハードディスクのデータを消去する。 3. 中止する。

6 「2 .セキュリティのためハードディスクのデータを消去する。」を選ぶ。
7 確認のメッセージが表示されたら、(Y) を押す。
ハードディスクデータ消去ユーティリティが起動します。
8 「<<<スタートメニュー>>>」で (Enter) を押す。
9 消去にかかるおおよその時間が表示されたら、(Space) を押す。
10 確認メッセージが表示されたら、(Enter) を押す。
ハードディスクのデータ消去が開始されます。
(万一、途中でデータ消去を中断する場合は、(Ctrl) + (C) を押して中断することができますが、すでに消去されたデータは復元されません。)
11 完了のメッセージが表示されたら、プロダクトリカバリーCD-ROMを取り出し、電源スイッチを押して電源を切る。
何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

FJ0103-0
DFQM1642ZA